

温室効果ガス削減目標がSBTイニシアチブの認定を取得（2024.2.22）

株式会社エム・シー・アンド・ピー（本社：大阪市北区、代表取締役 田窪由美子）が、国際的な共同団体であるSBT（Science Based Targets）イニシアチブ（*1）より2024年2月22日に認定を取得しましたのでお知らせします。

取得した認定の概要と背景

認定取得ができた理由は、2030年度に向けた弊社の温室効果ガス削減目標が産業革命前からの気温上昇を1.5°Cに抑えるための科学的根拠に基づいているからです。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

今回認定を取得した弊社の温室効果ガス削減目標は次の通りです。

スコープ1+2（*2）

2030年度までに温室効果ガス排出量を2020年度基準で60%削減

※SBT申請時は、2020年度基準で42%削減としていますが、RE100（再エネ率100%）を目指すためより野心的な目標である、2030年度までにScope2は60%削減を目標としています。

スコープ3（*3）

排出量の把握と削減に取り組むことを約束

※上記目標は、現在のプロセスで認定することができる最も野心的な1.5°C水準で認定を取得しています。

株式会社エム・シー・アンド・ピーは、事業活動で排出する温室効果ガス量が相対的に少ないです。弊社では、健やかな地球環境や豊かな生態系があるからこそ、私たちの事業が成り立っていると認識しています。

そのため弊社が出している温室効果ガスの量に関わらず、弊社の製品ライフサイクル内で地球環境に与える負荷を把握し、削減していくための取り組みを推進し、企業としての社会的責任を果たしていきます。

*1：SBTイニシアチブは、国連グローバル・コンパクト、CDP、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が共同で設立したイニシアチブ。産業革命前からの気温上昇を2°C未満に抑えるための科学的根拠に基づいた目標の設定を企業に働きかけています。

*2：スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス、車両等）

スコープ2：他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

*3：スコープ3：その他の排出（製品の使用・廃棄、輸送、従業員の出張・通勤、投資等）

令和5年12月8日

大阪府が発行する「グリーンボンド」への投資について

株式会社エム・シー・アンド・ピー（代表取締役：田窪由美子、以下「当社」という）は、このたび、大阪府が発行する第2回大阪府公募公債（15年）（グリーンボンド）（以下「本債券」という）に投資したことをお知らせします。

グリーンボンドは、環境改善効果を有するグリーンプロジェクトに充当先を限定した資金調達のために発行される債券です。

本債券におけるフレームワークは、国際資本市場協会（International Capital Market Association: ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」、及び「環境省グリーンボンドガイドライン 2022年版」への適合性について、第三者機関からセカンド・パーティー・オピニオン（Second Party Opinion: SPO）を取得しています（SPO 発行者：株式会社日本格付研究所（JCR））。

本債券の発行による調達資金は、大阪府が取り組む二酸化炭素（CO2）排出量を削減する緩和策や気候変動による自然災害の影響を軽減・回避する適応策に関する以下の事業資金として充当される予定です。

| プロジェクト分類 | 事業内容 |
|--|--|
| <気候変動への適応> ✓ 河川改修、高潮対策や農地防災対策等の風水害対策事業 ✓ 道路法面対策、治山事業や砂防施設整備等の土砂災害・山地災害対策事業 | ✓ 堤防や洪水調節施設等の整備 ✓ 土砂災害防止施設(砂防堰堤等)の整備 ✓ 道路の無電柱化 ✓ ため池等の総合的な防災・減災対策 |
| <気候変動への適応・生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理> ✓ 公園緑地整備等の気温上昇の抑制対策事業 | ✓ 公園緑地の創出 |
| <クリーン輸送> ✓ 公共交通機関の整備による自動車利用の削減対策事業 | ✓ 大阪モノレールの延伸 ✓ なにわ筋線の整備 |

当社は、本債券をはじめとした SDGs 債への継続的な ESG 投資を通じて、今後も社会的責任を果たしてまいります。

<本債券の概要>

| | |
|-----|--------------------------|
| 銘柄 | 第2回大阪府公募公債（15年）（グリーンボンド） |
| 年限 | 15年 |
| 発行額 | 50億円 |
| 発行日 | 2023年12月 |

以上